

新型コロナウイルス感染症

「第6波」突入 オミクロン株緊急対策(抜粋)

令和4年1月11日
岐阜県新型コロナウイルス感染症対策本部

全国でオミクロン株による感染が拡がり、今や「第6波」の渦中にあります。本県においても年明け以降、感染者が急増しており、これまでにない感染爆発を警戒すべき状況にあります。

県民の皆様におかれましては、ご自身や大切なご家族の命、そして地域社会・経済を守るため、引き続きの取組みをお願いします。

【オミクロン株の特徴】

- ・感染力の強さがデルタ株の3倍程度。
- ・デルタ株では5日程度であった発症までの期間が、オミクロン株では3日程度（本県の感染例）
- ・ワクチン2回接種から20～24週経過した場合、発症予防効果は10%程度まで低下（英国の報告）
※本県オミクロン株感染確定者の大半がワクチン接種済。

【感染防止対策の強化】

1 基本的感染防止対策の徹底

- ・「基本的感染防止対策」の徹底を継続。

①マスク着用、②手指衛生、③密回避、④こまめに換気、⑤体調不良時には全ての行動をストップ

- ・感染リスクが高まる以下の「5つの場面」の回避。

①飲酒を伴う懇親会等、②大人数や長時間に及ぶ飲食、③マスクなしでの会話、④寮の部屋やトイレなど共用部分は要注意、⑤休憩室・更衣室・喫煙室等は要注意

2 移動

- ・重点措置区域などの感染拡大地域への不要不急の移動は極力回避。

3 飲食

- ・大人数・長時間を避ける（4人まで、2時間以内が目安）